

審査基準

審査の項目	配点	審査の視点	審査の視点の具体例
(1) 業務の理解度	15	業務の目的と内容を正しく理解できているか	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務の内容について、十分に理解し、事業目的に沿った提案がされているか ・事業目的の達成に向けた方法が提案できているか
(2) 観光活用希望資産の活用可能性調査等	30	観光活用希望資産の掘り起こしや活用が期待できるか	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村から新たな観光活用希望資産の情報を得るための工夫があるか ・観光活用希望資産の課題分析や事例もふまえた活用について、市町村や企業へのアウトプットを期待できる提案がされているか ・派遣する専門家について想定ができているか
(3) 民間企業の掘り起こし	30	民間企業の掘り起こしを期待できる方法が提案されているか	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い業種に対し、効果的な情報発信が期待できるか ・民間企業が観光活用希望資産に興味を持つ工夫がされているか
(4) 現地視察及び伴走支援	30	仕様に掲げる業務内容を達成できる実施方法となっているか	<ul style="list-style-type: none"> ・視察対応及び伴走支援において、多くの民間企業や人材を招聘する方法やマッチングの可能性を高める工夫が提案されているか
(5) 実施体制	15	事業目的を達成するために十分な実施体制が整っているか	<ul style="list-style-type: none"> ・事業目的を達成するために必要なノウハウや体制が確保されているか ・本業務の実施にあたっての自社、他社を問わず必要な人材やネットワークが確保されているか
	5	県が推進する施策に事業者として積極的に取り組んでいるか	<ul style="list-style-type: none"> ・くるみん、えるぼし等に関する取組 プラチナくるみん、プラチナえるぼしの認証（2点） トライくるみん、くるみん、えるぼしの認証（1点） ・障害者雇用に関する取組の実施（1点） ・環境マネジメントシステムに関する取組 ISO14001又はエコアクション21の認証（1点） ・パートナーシップ構築宣言への登録（1点）
(6) スケジュール	15	事業目的を達成する適切なスケジュールか	<ul style="list-style-type: none"> ・本業務の完了が実現可能なスケジュールとなっているか ・調査やその他業務において過密なスケジュールとなっていないか
(7) 経費見積	10	見積は適正か	<ul style="list-style-type: none"> ・予算の範囲内であり、積算内訳及び根拠が明確に示されているか ・仕様に掲げた業務経費が全て計上されているか ・提案された業務規模と経費見積もりが大きくかけ離れていないか ・過剰な経費見積もりとなっていないか